

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年4月5日 (2018.4.5)

【公開番号】特開2017-46204(P2017-46204A)

【公開日】平成29年3月2日 (2017.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-009

【出願番号】特願2015-167605(P2015-167605)

【国際特許分類】

H 0 4 N 9/07 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 9/68 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 9/07 A

H 0 4 N 5/225 Z

H 0 4 N 5/225 C

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 9/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月20日 (2018.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

互いに異なる波長を有する可視光領域の光を選択的に透過して、かつ近赤外光領域において、互いに等しい分光透過率を持つ 3 種類のフィルタと、可視光領域の分光透過率が前記 3 種類のフィルタの各分光透過率の線形和で表わされて、かつ、近赤外領域において、前記 3 種類のフィルタの分光透過率と等しい分光透過率を持つ 1 種類のフィルタと、が所定のパターンで配列された光学フィルタと、

前記光学フィルタを透過した光を受光して、入射光の輝度に応じた出力信号に変換して出力する複数の画素からなる撮像素子と、

前記画素毎に、前記出力信号の中に含まれる近赤外光成分の比率を算出する近赤外光比率算出部と、

前記近赤外光成分の比率に応じた割合で、前記画素毎に前記各出力信号の中から近赤外光成分を除去して赤外分離信号を生成する赤外分離部と、を有し、

前記赤外分離部は、前記近赤外光成分の除去率を変化させる際には、前記近赤外光成分の比率を 0 % 付近と 1 0 0 % 付近とした際に 0 となるように前記除去率を連続的に変化させることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記赤外分離部は、前記出力信号の中の近赤外光成分の比率に対する近赤外光成分の除去率が記憶された近赤外光成分除去率テーブルに基づいて決定された除去率で、近赤外光成分を除去することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。